

【中小企業振興円卓会議】
令和5年度専門部会 活動成果報告書

活動名	学んで実践、頼られマネージャー（センパイ）になろう（中堅社員のリスキリング）																																							
部会名	リスキリング部会																																							
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈																																							
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ																																							
構成メンバー	サイボウズ(株)松山オフィス、合同会社Cheer for																																							
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日																																							
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,324,062円(1,300,000円)																																							
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>●シン・まつやまワークワク部とは？● 企業の中堅社員のコミュニティ：ハサマレ世代の学び（リスキリング）と実践 <コンセプト> ・ゆるやかなつながりの中で、学び、実践し、様々な「問題解決スキル」を身につける ・働き方と生き方はセットであり、仕事を通じて人生を考え、自己を開発していく</p> <p>部員：16名+事務局6名=22名 男性13名・女性9名 うち2名途中退会 11回実施 1回は人数が少ないため中止 facebook非公開ページに、部員を招待してコミュニケーション（うち2名は、登録していないためメールで案内）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日にち</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月1日</td> <td>オンラインザツダン会 (部活についての説明とザツダン)</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>5月30日</td> <td>第1回オリエンテーション</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>6月13日</td> <td>第2回「問題解決メソッド」 講師：久保さん（サイボウズ松山）</td> <td>9名 部員が10名（男性5名女性5名）</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>休部（参加者が少なかったため）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月22日</td> <td>第3回「問題解決メソッド②」+懇親会 講師：久保さん（サイボウズ松山）</td> <td>12名 (新規部員1名)</td> </tr> <tr> <td>9月19日</td> <td>第4回「自己棚卸ライフラインチャート作成」 講師：高橋さん（NPO法人ワークライフ・コラボ）</td> <td>8名 (新規部員1名)</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>第5回「社会教育プログラムの作成」 講師：亀田さん（NPO法人ワークライフ・コラボ）</td> <td>9名 (新規部員1名)</td> </tr> <tr> <td>11月21日</td> <td>第6回「アニメ・アイドルから学ぶコミュニケーションセミナー」 講師：野村さん（合同会社CHEER FOR）</td> <td>10名（新規部員2名）</td> </tr> <tr> <td>12月19日</td> <td>番外編「男性の育休や子育てから考える、働き方の未来とコミュニケーションのあり方」 ※部員外も参加可能 講師：秀野さん（愛媛新聞社記者）</td> <td>20名（部員外11名）</td> </tr> <tr> <td>1月23日</td> <td>来年度の方向性と企画を考える&新年会</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>2月20日</td> <td>自分の本業の紹介しあう！①</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>3月19日</td> <td>自分の本業の紹介しあう！②</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	日にち	内容	参加人数	5月1日	オンラインザツダン会 (部活についての説明とザツダン)	7名	5月30日	第1回オリエンテーション	11名	6月13日	第2回「問題解決メソッド」 講師：久保さん（サイボウズ松山）	9名 部員が10名（男性5名女性5名）	7月	休部（参加者が少なかったため）		8月22日	第3回「問題解決メソッド②」+懇親会 講師：久保さん（サイボウズ松山）	12名 (新規部員1名)	9月19日	第4回「自己棚卸ライフラインチャート作成」 講師：高橋さん（NPO法人ワークライフ・コラボ）	8名 (新規部員1名)	10月17日	第5回「社会教育プログラムの作成」 講師：亀田さん（NPO法人ワークライフ・コラボ）	9名 (新規部員1名)	11月21日	第6回「アニメ・アイドルから学ぶコミュニケーションセミナー」 講師：野村さん（合同会社CHEER FOR）	10名（新規部員2名）	12月19日	番外編「男性の育休や子育てから考える、働き方の未来とコミュニケーションのあり方」 ※部員外も参加可能 講師：秀野さん（愛媛新聞社記者）	20名（部員外11名）	1月23日	来年度の方向性と企画を考える&新年会	13名	2月20日	自分の本業の紹介しあう！①	10名	3月19日	自分の本業の紹介しあう！②	
日にち	内容	参加人数																																						
5月1日	オンラインザツダン会 (部活についての説明とザツダン)	7名																																						
5月30日	第1回オリエンテーション	11名																																						
6月13日	第2回「問題解決メソッド」 講師：久保さん（サイボウズ松山）	9名 部員が10名（男性5名女性5名）																																						
7月	休部（参加者が少なかったため）																																							
8月22日	第3回「問題解決メソッド②」+懇親会 講師：久保さん（サイボウズ松山）	12名 (新規部員1名)																																						
9月19日	第4回「自己棚卸ライフラインチャート作成」 講師：高橋さん（NPO法人ワークライフ・コラボ）	8名 (新規部員1名)																																						
10月17日	第5回「社会教育プログラムの作成」 講師：亀田さん（NPO法人ワークライフ・コラボ）	9名 (新規部員1名)																																						
11月21日	第6回「アニメ・アイドルから学ぶコミュニケーションセミナー」 講師：野村さん（合同会社CHEER FOR）	10名（新規部員2名）																																						
12月19日	番外編「男性の育休や子育てから考える、働き方の未来とコミュニケーションのあり方」 ※部員外も参加可能 講師：秀野さん（愛媛新聞社記者）	20名（部員外11名）																																						
1月23日	来年度の方向性と企画を考える&新年会	13名																																						
2月20日	自分の本業の紹介しあう！①	10名																																						
3月19日	自分の本業の紹介しあう！②																																							
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>・参画した企業19社のうち、参加率が高いのは大企業で、予定を自己決定しやすい傾向。途中退部された方は、業務多忙につき、抜けられないが続いたという理由。 ・リスキリングという側面もあり、会社に理解を得ていただくためにあえて平日午後にしたが、それが中小企業にとっては難しいと感じられた。→参加した部員からは「普段職場では話せないことを話せて、新たな視点を得られた」「会社や仕事は違うが、上司や部下の間にいる立場の近い仲間と学ぶ機会は他にないので今後も参加したい」 ・新規部員は、部員の声かけにより少しずつ増えて行ったこともあり、プログラムを変えざるを得なかった。 <課題> ・新入社員や管理職に上がるタイミングで研修があるが、それ以外では研修や社外の人と学ぶ機会は皆無という企業が多い。→アップデートする機会がない ・平日昼間に「仕事として」参加できればと思うが、横のつながりを持つ、自身の視点の広がり、問題解決能力を養う、ということだけでは会社が社員を社外に出しづらい。 →学生との学びの機会ということであれば、会社にもメリットがあり（リクルートのにも）出やすいという声もあり、次年度は、愛媛大学リーダーズスクールと一緒に「リーダーシップ」を学ぶ機会を持つ。 →次年度は事務局と協議し、部員も温度が後半になって上がってきたこともあり、中断するのは機会の損失となることから、自主事業として無理のないスケジューリングで1年は継続してみる。</p>																																							
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>・「まつやまワークワク部」を、自主事業として継続して、部員で役割を決めながら無理のない範囲で実施していく。 愛媛大学のリーダーズスクールとの連携で、学生とリーダーシップを学ぶ機会も入れる。</p>																																							

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
令和5年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,300,000 円	1,300,000 円	0 円	
参加費		22,500 円	22,500 円	参加費1回500円 (事務局は無料)
法人負担		1,562 円	1,562 円	
合 計	1,300,000 円	1,324,062 円	24,062 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
企画管理費	1,000,000 円	674,200 円	円	運営にかかる人件費
		387,881 円	-62,081 円	業務委託 (SNS管理等) 360000 旅費交通費 7460 食糧費 2512 通信費 17909
印刷製本費	100,000 円	79,221 円	20,779 円	広告宣伝費 49500 印刷製本費 7851+21870
報償費	200,000 円	165,000 円	35,000 円	企画、コミュニティマネジャー
その他経費	0	17,760	-17,760	支払手数料 11620 消耗品費 6140
合計	1,300,000	1,324,062	-24,062	